

【件 名】	路面補修工事(5北南の9)	【事務所名】	北多摩南部建設事務所	
【工事場所】	東京都西東京市西原町一丁目地内から同市緑町一丁目地内まで 主要地方道 東京所沢線（第4号）所沢街道	【受注者名】	協立舗道株式会社東京支店	
【工 期】	令和6年2月28日から令和7年5月27日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 嘉藤 正史	

【工事概要】

本工事は、主要地方道 東京所沢線（所沢街道、施工延長711.49m、車道幅員7.00m）において、街きよの更新、歩道舗装補修、路面切削による車道舗装補修を行ったものである。

【表彰理由】

本施工箇所は、路線バスを含め交通量が非常に多いことから夜間施工とする必要があった。くわえて、沿道には住宅が密集していることから騒音・振動の抑制が不可欠であった。本受注者は、地元住民はもとよりバス事業者等の関係機関との綿密な調整や施工方法の工夫等により、円滑に工事を完了させた。新技術の採用にも積極的に取り組んでおり、他の模範となる工事であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
工事終点部となる六角地蔵交差点は渋滞の名所であり、交通量が多い時間帯における交通規制は影響が甚大となる。このため、規制帯の迅速な準備・撤収、施工方法の工夫等により、規制開始時間の後ろ倒しや規制時間の短縮を図ったこと。
- ◇ 特に工夫した点
住宅密集地帯であったため、騒音を伴うコンクリート二次製品の切断加工は現場で行わず、事前に置場で加工のうえ日々搬入して使用するなど騒音対策に努めた。事前の加工により、現地での作業時間の短縮にもつながった。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
設置延長が1km以上にわたるプレキャスト製街きよの据付に当たり、民地やパーキングへの出入り等に関するお知らせ等、近隣へのきめ細やかな事前周知を行うことで、1件の苦情もなく完了できたこと。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
道路工事は、常に地域住民等と接しながらの施工となるため、工事の必要性や内容を理解いただき、協力していただくことが必要となる。品質・安全の確保だけでなく、地域住民との密なコミュニケーションが大切であるということ。



通過交通の状況